

2011年12月吉日

各位

日本保険・年金リスク学会
研修会担当理事
伊藤・河野・栗山・清水・福田

JARIP 2011 年度第1回研修会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日本保険・年金リスク学会（JARIP）の2011年度第1回研修会を、下記のとおり開催しますので、各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

なお、会場の関係で募集定員を100名とさせていただきますので、お早目の申し込みをお願いします。

敬具

記

1. 研修会の概要（詳細は別紙）

テーマ： 保険市場と資本市場のインテグレーション
－ 年金マネーが保険キャパシティを支える －

講師： 勝山 正昭 氏（ガイ カーペンター株式会社 マネージング ディレクター）

日時：2012年1月20日（金）15:00～17:00

場所：TGIフィナンシャル・ソリューションズ 本社セミナールーム

東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル8階

（地下鉄大手町駅 地下1階にてC2b出口が直結）

（東京メトロ千代田線・半蔵門線・丸ノ内線・東西線・都営三田線）

（別紙 周辺地図をご参照下さい：（新）経団連会館・（新）日経ビルのとなり）

2. 参加申込

期日：2012年1月16日（月）

ただし、**申込者数が会場定員100名に達した場合は、その時点で締め切ります。**

専用申込フォームよりお願い申し上げます。

<https://fs222.formasp.jp/c442/form5>

領収書が必要な場合は記入欄で【領収書 必要】を選択してください。

（事前連絡がなかった方には、領収書を発行しません）。

3. 参加費

会員；1,000円、学生会員；無料、非会員；5,000円

（法人会員は、3名までは1人当たり1,000円、それ以上は1人当たり5,000円となります）

参加費は、研修会当日、会場受付にてお支払い下さい。

以上

A. 講義概要

東日本大震災、ニュージーランド地震、米国トルネードなど、この1年来先進国に自然大災害が頻発して、(再)保険市場が不安定になって来ている。一方年金基金等の資本市場投資家は、保険リスクに専門的に投資するファンド等を通じて、金融市場との相関性の少ない保険市場への投資姿勢を強めて来ており、最近の欧州危機でその勢いはむしろ加速しつつある。

このような需給両面での要因により、自然大災害等の保険リスクのキャパシティ調達先として、ますます資本市場の重要性が高まって来ている。最近の大災害で資本市場ツールでも支払いが相次いだか、(再)保険会社等のリスク移転者にはカバーの有効性が実証された一方、キャパシティ提供者である資本市場投資家は分散投資していたために運用損失は想定範囲内に留まり、結果としてさらなる市場拡大に弾みが付いている。

本研修会では、CATボンド、担保付再保険等の資本市場ツールについて、その基本的仕組みと最新動向を説明する。保険市場と資本市場のインテグレーションが進みつつある姿を、感じ取っていただければ幸いである。

B. 講師プロフィール

2010年に米マーシュ&マクレナン・カンパニーズ・グループのガイ カーペンター社に入社して以来、保険的リスク等に関わるリスクマネジメント商品の業務に従事する。1999年から2009年まではスイス・リー・グループに勤務し、保険的リスク・信用リスクなどに関わるリスクマネジメントのための関連業務を担当。合計10年以上に渡り、地震・台風等の大災害、死亡率等の生命保険的リスク、天候等に関する、新しい商品の開発・営業に携わってきた。1997年から1999年までは英国ハンプローズ銀行東京事務所(後にカナダロイヤル銀行東京支店に吸収)に勤務、仕組債・債券引受・デリバティブ業務に関わった。それ以前は15年間に渡る農林中央金庫での資金部・証券営業室・ニューヨーク支店・金融商品開発部等の勤務を通じ、国内外の債券・資金・デリバティブ各市場業務に従事した。

東京大学経済学部卒業、シカゴ大学MBA(経営学修士)。米国CFA協会認定証券アナリスト、(社)日本証券アナリスト協会検定会員。国際スワップ・デリバティブ協会(ISDA)日本支部の天候・コモディティ・新商品デリバティブ委員会共同議長、慶応義塾大学大学院経営管理研究科臨時講師、気象庁・経済産業省主催の研究会委員、日本アクチュアリー協会年次大会パネリスト、等を歴任。著書に、「企業のリスクマネジメント」(共著、慶應義塾大学出版会)、「新展開 電力ビジネス」(共著、電気新聞ブックス)がある。

以上

